

交野市教委ニュース

第75号（平成29年10月2日発行）

小学校の平和教育について

運動会が終わると、大活躍をした小学校6年生は、次は修学旅行に向けての取組みに集中することでしょう。

本市の小学校の多くは広島に行きますので、広島原爆被害について学習しますが、広島に修学旅行に行かない学年の児童や小学校も平和教育には普段から取り組んでいます。

交野の小学校の平和教育についてご紹介します。

1年生から読み物教材を活用し、戦争の悲惨さや平和を考える授業をしています。ボランティアのかたに、平和や広島に関する絵本の読み語りもしていただいています。



広島への修学旅行の様子です。当日だけではなく、その事前、事後学習にも取り組んでいます。



体験者のお話を聞いたり平和公園での様子等を、修学旅行報告会として下級生に、また保護者向けにすることもあります。昨年は、交野の姉妹都市であるカナダのコリンウッド市から訪問団が来られましたが、その訪問団に小学校6年生が修学旅行の報告会と「ヒロシマのある国で」の合唱をおこない、訪問団の方が感激されていました。

森本順子さんがお亡くなりになりました。

森本順子さんは、交野郷土史かるた・交野市史民俗編の挿絵を書かれた方です。かつて、交野市立第一中学校と第三中学校で美術の教員をされ、その後、オーストラリアに渡られました。

オーストラリアでは、子ども向けに出版された本の中で優れた作品に与えられる賞、「Children's Book Council of Australia」を4年連続で受賞されました。

森本さんは、広島出身で、自らの被爆体験を描いた絵本「My Hiroshima (私の広島)」の作者でもあり、この絵本はオーストラリアのほとんどの小・中学校に蔵書としてあります。

平成24年には交野の小学校で講演をしていただくとともに、小・中学校に「My Hiroshima (私の広島)」を寄贈していただきました。各校、平和学習等に活用させていただいています。

森本順子さんのこれまで本市や本市の学校のために活動いただいたことに心から感謝を申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。